

6. 農林水産分野の有する環境保全機能を支える仕組みの構築



【実現しようとする姿】

- 豊かな二次的自然環境を有した里地・里山・里海の実現
- 都市住民等が多く訪れ、都市と互いに支え合う、開かれた農山漁村の実現
- グリーンツーリズムや環境便益への経済的支援による所得の向上

環境保全機能を支える、市民・企業等からの支援

➡ 4,000件程度

7. 医療、介護、福祉と食、農の連携

経験的に言われていること



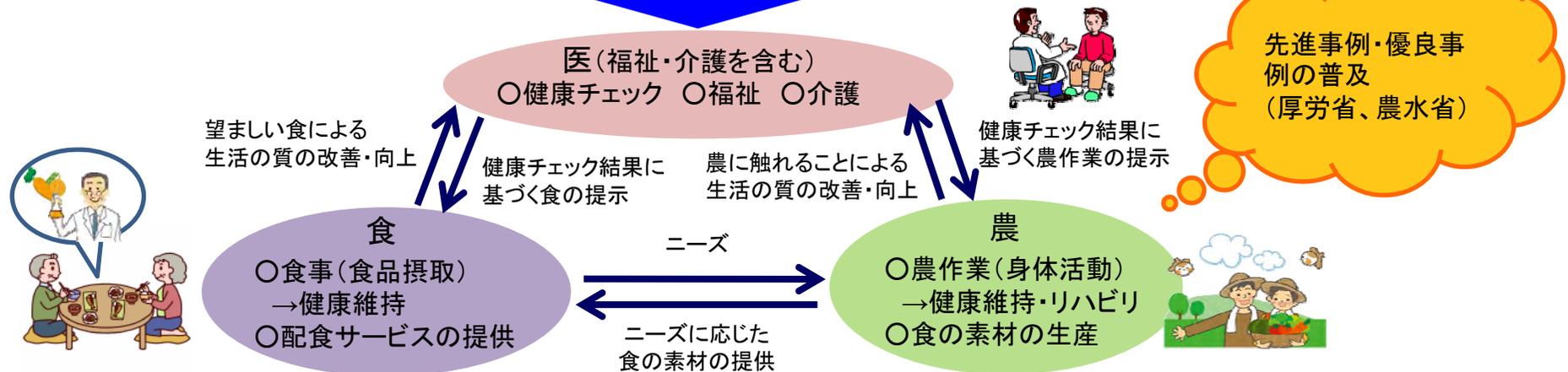
農林水産業・農山漁村の癒し効果



農林水産物等の持つ健康への効果

経験則から、科学的立証へ（エビデンスの蓄積）

- ・機能性に関する研究の情報提供（厚労省、農水省）
- ・生産現場に対する生薬の品質保持等に資する研究成果の提供、品質安定化・作業省力化に必要な栽培技術の指導（厚労省、農水省）



【事例1（熊本県益城町）】

- ・園芸福祉士・作業療法士などの専門家を交えた、リハビリやセラピー作業を行い、福祉施設利用者の健康増進を図る。
- ・農業者との協力によるブルーベリーの病院食利用に向けた商品を開発中。



【事例2（青森県青森市）】

- ・地域づくりに取り組むNPO法人が食堂と農園を運営し、常駐の医師や栄養士の監修により、栄養バランスの取れた食事提供のほか、ヘルスツーリズム等健康増進のための事業を展開。食堂と農園で計800万円の売上げ。



【実現しようとする姿】

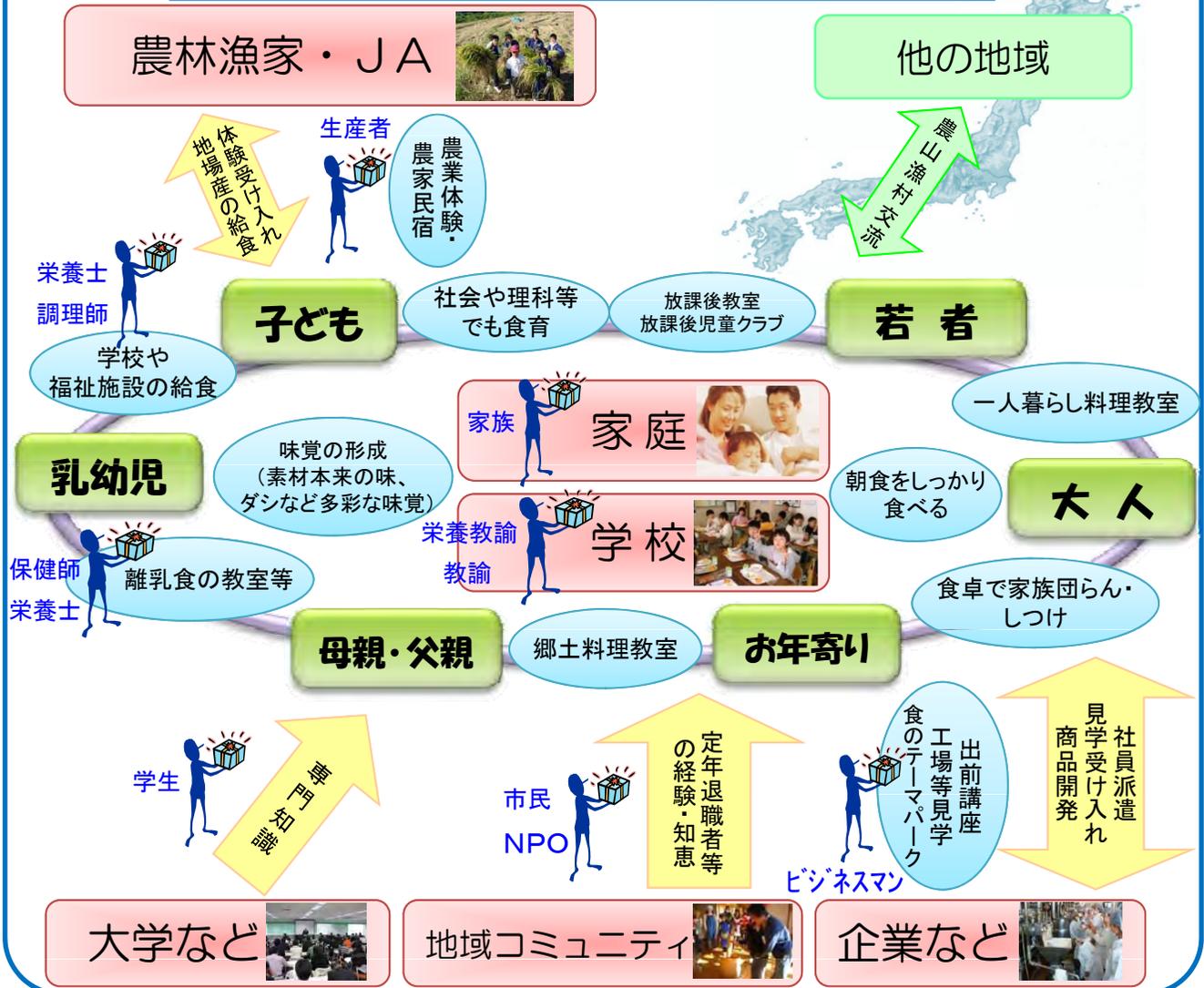
- 「食」と「農」を基盤とした健康・長寿社会の構築



全国500地区でモデル的な取り組み

8. 全ての世代、様々な立場の人々が参加する「生涯食育社会」

あらゆる機会に食や農に触れ、考える社会
 (「私」に合った食育を、いつでもどこでも)



【実現しようとする姿】

- 地域の全ての人々が、「学ぶ人」「教える人」「協力する人」として食育に取り組む
 - 食育を通じて、
 - ・食べ物を選択する力や食に関する知識を身に付ける
 - ・我が国や自分が住む地域の農林水産業の価値や資源としての可能性、歴史や文化を知る
 - ・環境問題について知る
 - ・人とのつながりを通じて心身が充実する
- など、生きる上での知識・力が身につく

全ての人々が健康で豊かな生活を実現

一人ひとりが食の将来ビジョンを実現するプレーヤーになり、元気な地域を創る原動力となる

次期食育推進基本計画での生涯食育の推進や、地域一体となった食育の取組の推進
 (内閣府、総務省、法務省、文科省、厚労省、農水省等)

9. 「食」に関する将来ビジョンの実現に向けた国民運動の展開

食ビジョン実現国民運動

「食」とその礎となる「農」、そして「地域」の可能性を最大限引き出すためには、政府のみならず、食や地域とともに毎日生きている私たち日本人一人ひとりのアクションが不可欠。そして、食や農は各府省が展開する各種の国民運動とも深くかかわりを持つ要素。

男女共同参画 【内閣府】 	早寝早起き朝ごはん 【文科省】 	健康日本21 【厚労省】 	クマノヅエ外 【厚労省】 
フード・アクション・ニッポン 【農水省】 	めざましごはん 【農水省】 	農林水産物・食品の 輸出促進【農水省】 	農山漁村の郷土料理百選 【農水省】
ビジット・ジャパン事業 【外務省、国交省】 	チャレンジ25キャンペーン「朝チャレ！」 【環境省】 	など	

○「朝」「健康」「食文化」「子ども」といった視点から、様々な国民運動を連携して展開

○政府の職員一人ひとりが率先して運動に参加

○地域ぐるみでの地産地消などを推進

相乗効果を発揮！

「組織」とともに国民一人ひとりが行動！
(まずは隗より始めよ！)

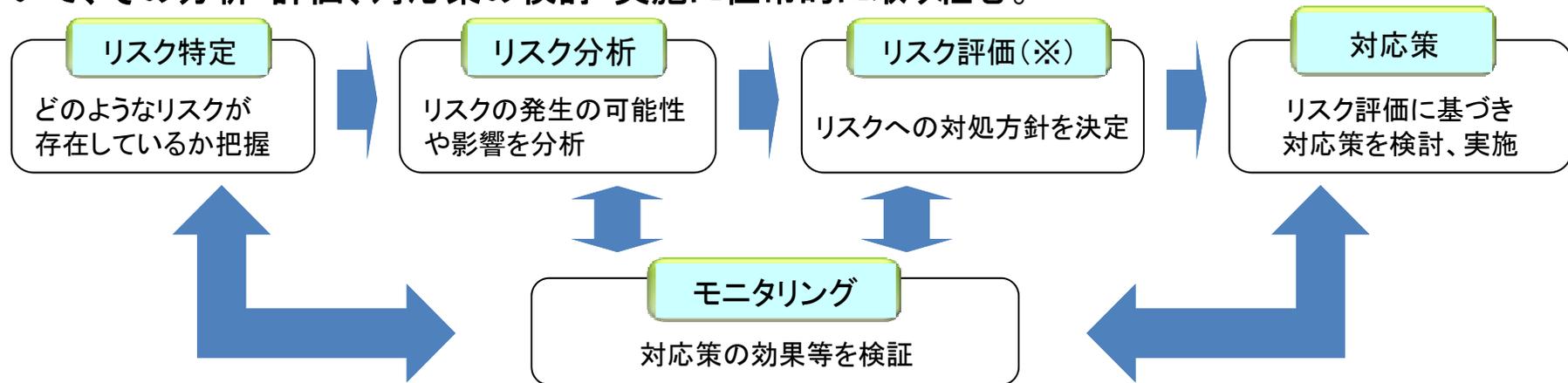
国民一人ひとりが「農」を支える！

国民一人ひとりの力で「食」に関する将来ビジョンを実現！

10. 総合的な食料安全保障の確立

食料の安定供給上の様々なリスクに対処するための恒常的な取組

- 今日、グローバル化の進展、食品の生産流通過程の複雑化等により、農作物の作付けから食料が消費者の口が届くまでのフードチェーンの各段階において、安定的な食料供給の確保を脅かす様々な不安要因が存在。
- 国家の責務である国民への食料の安定供給を確保するため、各府省の連携の下、国内の生産面のみならず流通・加工・消費面、国際面を含め食料の安定供給に影響を与える可能性のある様々な不安要因(リスク)について、その分析・評価、対応策の検討・実施に恒常的に取り組む。



※リスク評価・・・リスクを許容し保有する、リスクを許容できない場合にリスクを低減する(発生の可能性や影響を少なくする)などの対応や、それらの対応の優先順位等の方針を決定。

国民への食料の安定供給を確保